



一書習之修者

近中起若也

権源之海

河同歌之端

時人年月日

動者

社之於

十分之

中首

社一鞭^翰之

邊城之

本橋之

第之

對之



對の宿禰ありし
幸の白丸散社に於
十方に何人も用陳
少物にても貴社に
亦大強具を来り
中減論を山ありし
善之反對論者也
吾人、幸禰の子
ありて讀む者に爲
の莫大に利益
ありて、
申す上、
大深貴意が
也、
一、
福地、

方翰

一印二極在

印 沼南

龍 龍行

三印 別川



65 70 75 80 85

